



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



人類に
奉仕する
ロータリー

2016~
2017年度
テーマ

国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I.会長 ジョン.F.ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I.2720地区ガバナー 前田真実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高原 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2016年11月21日】

第1237回

2016-2017年度 第17回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

ロータリーソング

「我等の生業」

来訪者紹介 (大友 利行 直前会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 直前会長)



今夜は、河島会長が東京出張の為、会長代行で私が担当致します。実は小生も昨日は東京で亡姉の一周忌の法事に出席しました。鎌倉の振濟寺の寺院で、甥と姪の家族と一緒に法事に参列致しました。私にとって、兄弟は姉と2人ですので、今からいろいろ話したいと思っておりましたが、姉婿の三年忌を済ますと、認知症が出て、またたく間に亡くなってしまいました。法事を営んで頂いた御住職とは何度も顔を合わせていました。法事が終わって境内にある姉たちを納骨した墓地に参拝。そこで樹木葬の墓を古い墓地を整備して作られたことを伺いました。80墓ほどの樹

いきました。80墓ほどの樹木葬スペースを見学。丁度日程で見学に訪れる方々もあって、墓石会社から来られている2名の方が案内説明をしていました。作られて間が無いのに、もう80名程の予約があったそうで、需要の多さに驚いているとの御住職の話。核家族が進み、高齢者が増えてゆく社会で、死んだ先まで自己責任の世の中と知らされました。

幹事報告 (葉高原 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①2017~18年度「R財団部門 地区補助金管理セミナー」開催のご案内

日時：平成29年1月29日(日)

受付12:30/セミナー13:00~16:00

場所：ホルトホール大分 3F

「大会議室」

内容

①地区補助金の仕組みと具体的な申請方法について

②グローバル補助金の仕組みと地区の取り組みについて

出席要請者：次期ガバナー補佐、現クラブ会長、次期会長、次々期会長、現ロータリー財団委員長

卓話予定

11/28 ロータリー財団月間卓話 地区ロータリー財団委員 木村 初氏

12/ 5 「新しい医療の話題」伊津野良治 会員

12/12 クラブフォーラム「会員増強について」

12/19 「年忘れ家族会」(ホテルキャッスル 11F トユールドジャトー)

★年次総会を例会内で行います。

12/26 定款第6条第1節に基づき、例会取り止め

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

「すぐに」がうれしい

オンライン寄付がもたらすメリット

小切手を使う西洋人なら、郵便で届く小切手を待つ苦痛さを知っています。最悪なケースでは、住所違いで小切手が行方不明となり、永久に届かないということもあります。

オンライン寄付のメリットは、この「待つ」時間がないこと。寄付の受理確認がすぐに届き、寄付を受け取る非営利団体側もすぐに寄付を使えるというメリットがあります。これらのメリットから、当然、オンライン寄付の傾向は広がっています。

世界のオンライン寄付状況を調べているBlackbaud's Charitable Giving のレポートによると、2015年には、前年と比べてオンライン寄付が9.2%増えています。また、昨年の全オンライン寄付の14%近くが、携帯機器から行われています。

14種の通貨でオンライン寄付ができるロータリー財団も、このトレンドの恩恵を受けています。2014.15年度、ロータリー財団へのオンライン寄付額は1020万ドル、2013.14年度の890

万ドルと比べると、14.6%増えています。財団への全寄付の4%にすぎないとはいえ、ネットの利用を好む人にとって、オンライン寄付は絶好の選択肢となっています。

「最初はびくびくしていましたが、オンラインバンキングを利用すればするほど、その安全性を実感するようになった」と話すのは、第31ゾーンのロータリー財団地域コーディネーター、リッチ・チャーチマンさんです。ロータリー定期寄付プログラムを利用してあるチャーチマンさん。「定期寄付では自動的に寄付が引き落とされるので、簡単にポール・ハリスンサエティメンバーになりました」と語ります。

近年人気が高まっている「寄付の火曜日」(Giving Tuesday)も、オンライン寄付の成長を後押ししています。2015年の「寄付の火曜日」には、ロータリー財団のオンライン寄付が前年よりも75%以上増え、財団史上4番目にオンライン寄付が多い日となりました。

今年の「寄付の火曜日」は11月29日。クラフターのウェブサイトに、デジタルニュースレター、ソーシャルメディア投稿にロータリーの「寄付」ページへのリンクを載せて、オンライン寄付を呼びかけましょう。

寄付者へのメリット

- 寄付手続きがすばやく行われる
- 郵送で行方不明になったり、盗まれる心配がない

- 寄付者の認証手続きも早く行われる

- 郵送料がかからない

- クレジットカードの特典/還元ポイントがたまるとなる

ロータリー財団へのメリット:

- 事務経費が抑えられる
- 寄付をより素早く補助金に充てられる
- 若い人に寄付を呼びかけやすい
- いつでも簡単に寄付ができるので、災害などのできごとによりロータリーが素早く反応できる



ロータリー財団100周年記念の寄付を行い、3億ドルの募金目標達成にご協力ください

ご寄付

ロータリー財団は以下の通貨でのオンライン寄付を受け付けています:

- € ARS アルゼンチンペソ
- AUD オーストラリアドル
- BRL ブラジルレアル
- CAD カナダドル
- CHF スイスフラン
- DKK デンマーククローネ
- EUR ユーロ
- GBP ポンド
- INR インドルピー (2016年9月から利用可能に)
- JPY 日本円
- NOK ノルウェークローネ
- NZD ニュージーランドドル
- SEK スウェーデンクローネ
- USD 米ドル
- ZAR 南アフリカランド

グローバル補助金： 実施国クアランプラが成功のカギを握る

プロジェクト実施国のクアランプラは、地域社会のニーズを知り尽くし、現地の住民との入脈もあります。グローバル補助金プロジェクトの成功には、実施国側クアランプラが存在が欠かせません。

運動障害のある子どものための運動分析研究所をつくるグローバル補助金プロジェクトで地元ロータリアンが重要な役割を担った。と話すのは、リオ・クアランプラ・デ・アズール・ロータリークラブ（ブラジル、サンパウロ）の会長、カルメン・クアランプラさんです。地元の児童リハビリセンターがクアランプラに援助を求めてきたことがきっかけとなり、このプロジェクトが始まりました。クアランプラのロータリアンは以前にも4件のグローバル補助金プロジェクトでセンターと協力した経験があり、センターのスタッフがこのプロジェクトにも熱心に協力してくれるという確信がありました。

以前のプロジェクトで、この地域に運動分析研究所が必要であることが明らかになりました。この地域で、高額な費用を払わずに利用できる唯一の

施設は、1年間の利用待ち状態。このため、慢性まひ、進行性の神経障害、そのほかの運動障害を抱える子どもが多くは、必要な治療を受けることができませんでした。センターでは、このような子どものために、運動能力を調べ、詳細な診断・治療プランを立てるための機器を必要としていました。

この研究所の機器をミラノ（イタリア）のメーカーから取り寄せる必要があることを知ったクアランプラさんは、協力してくれるイタリアのクアランプラを探すため、第2041地区財団委員長に援助を求め、機器の輸入にあたっては自分（クアランプラさん）のクアランプラが親戚手続き等の手配を行うことを約束しました。

「最初、相手は少し疑っていたようですが」とクアランプラさんは振り返ります。「イタリアに知り合いはいませんが、一人で申し込んでいただき、かかるお金もかなりの高額でした」

しかし、何度かのメールのやりとりの後、第2041地区と第2042地区は、援助国側提唱者になることに同意しただけでなく、機器の搬入についてメー

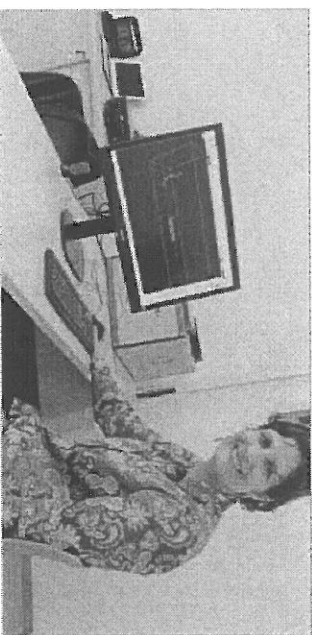
カーとの交渉も行ってくれました。また、Politicono di Milanoもパートナーとなり、センターのスタッフに研修を行うために専門家をアラジルに派遣しました。

アラジルのロータリアンも、地元企業を説得して施設の改築コスト20,000ドルを調達しただけでなく、免状の確保、機器説明書の翻訳、改築と機器設置の作業を監督しました。

地元でグローバル補助金プロジェクトを開始しようとするクアランプラに対し、クアランプラさんは次のようにアドバイスします。「活動を維持できる独自のリ

ソースを備えた、信頼できる地元団体を運びましょう。また、協力を求める際は、プロジェクトが地域社会にもたらす恩恵をよく説明してください」。クアランプラさんはさらに、援助国側提唱者に常に活動の進み具合を伝え、援助への感謝を表すことの大切さを強調します。

実施国側クアランプラにとっての一つの大きなアランプラは、活動の結果を直に見られる喜びです。「体を動かせなかった子どもが一旦歩み出すのを見るときは、この活動を実施したことか、正しかったと実感します」とクアランプラさんは語ります。



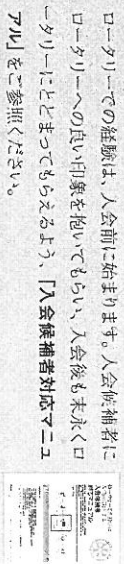
患者の情報を確認するプロジェクトメンバー

ご存知ですか

ロータリー樹田100周年の祝賀の一環として、樹田補助金を通じてクアランプラと地区が実施した素晴らしい活動を表彰しています。地区でも、2015-16年度に地区補助金を利用して早稲した活動を実施した地区内のクアランプラに特別表彰状を贈り、この表彰にご協力いただきます。



「新会員オリエンテーション：ロータリーでの第一歩を踏み出してもらうために」を参考に、新会員がロータリーを存分に楽しめるよう、充実したオリエンテーションを企画しましょう。メンバーの活用方法、クアランプラになじむ方法、新会員のスキルを生かす方法などをご紹介します。



「ロータリーって何」と尋ねられて困ったことはありませんか。この質問にシンプルかつ魅力的な形で答えるのは、意外と難しいもの。ロータリーウェブサイト「ロータリーとは」のページをご覧ください。



会員や地元地域にとってクアランプラが大切な存在であり続けるには、定期的なクアランプラの健康チェックが欠かせません。発展の可能性のある分野や問題となり得る分野を見つけて、早めに対処しましょう。

毎年オンラインで開催される新しい決議案委員会では、代表議員が決議案について審議します。2017-18年度に審議する決議案は、2017年6月30日までにご提出ください。

「ロータリーリーダー」9月号の「国際大会」のコラムでご紹介したロータリー一晩回覧は中止となりました。